

# ■ 指定管理者制度導入施設 最終評価シート ■

## 1 基本情報

公の施設名	市民・大学交流センター(ユニコムプラザさがみはら)
指定管理者名	公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム
指定期間	平成31年4月1日～令和4年3月31日 《3年間》
施設設置条例	相模原市立市民・大学交流センター条例
施設の設置目的	市民と大学等との連携により、地域の課題の解決及び地域の活性化を図る (相模原市立市民・大学交流センター条例第2条)
施設概要	・所在地 南区相模大野3丁目3番2-301号 ・床面積 2,965.82㎡ ・構造 鉄筋コンクリート造 ・施設 セミナールーム1・2、実習室1・2、ミーティングルーム1・2・3・4・5 マルチスペース、AVスタジオ、シェアードオフィス1・2・3、 大学情報コーナー、地域情報コーナー
施設所管課	市民局 市民協働推進課

## 2 管理実績

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数合計 (人)	163,450	34,162	58,011
利用料金合計 (円)	27,024,032	12,368,435	24,217,866

## 3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>D</b>		<b>10</b>

### 指標1

指標名 (単位)	【指標1】有料施設の利用率(シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーを除く)(%)
指標式と指標の説明	指標式: 有料施設の利用コマ数 / 有料施設の利用可能コマ数 × 100 有料施設の利用率を指標とすることで、施設の活用を図るとともに、施設利用者への施設の設置目的の認知度向上を推進するもの。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (%)	82.0	84.0	85.0
実績値 (%)	76.6	58.5	57.2
達成度 (%)	93.4%	69.6%	67.3%

<b>指標 2 (1)</b>	
指標名 (単位)	【指標2(1)】有料施設の利用率(シェアードオフィス)(%)
指標式と指標の説明	指標式:利用日数/利用可能日数×100 【①個人<30名>、②団体<8団体>、③大学<4大学>】 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (%)	82.0	84.0	85.0
実績値 (%)	41.8	34.7	29.4
達成度 (%)	51.0%	41.3%	34.6%

<b>指標 2 (2)</b>	
指標名 (単位)	【指標2(2)】有料施設の利用率(大学情報コーナー)(%)
指標式と指標の説明	指標式:利用日数/利用可能日数×100 【(大)<15ブース>、(小)<2ブース>】 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (%)	100.0	100.0	100.0
実績値 (%)	106.7	113.3	120.0
達成度 (%)	106.7%	113.3%	120.0%

<b>指標 2 (3)</b>	
指標名 (単位)	【指標2(3)】有料施設の利用率(地域情報コーナー)(%)
指標式と指標の説明	指標式:利用日数/利用可能日数×100 【(小)<9ブース>】 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (%)	82.0	84.0	85.0
実績値 (%)	83.7	98.4	93.6
達成度 (%)	102.1%	117.1%	110.1%

<b>指標 3</b>	
指標名 (単位)	【指標3】地域活動や市民活動を行う市民と大学との橋渡し件数(件)
指標式と指標の説明	市民(市内で活動する個人、団体、NPO、企業等)と大学が連携して、地域の課題解決や活性化を実現するための助言や企画提案等を行った件数を指標とする。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (件)	26	26	26
実績値 (件)	26	28	27
達成度 (%)	100.0%	107.7%	103.8%

<b>指標 4 (1)</b>	
指標名 (単位)	【指標4(1)】「地域づくりプロジェクト」の対話の実施回数(回)
指標式と指標の説明	「市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供する業務」の成果を測る指標の1つ目として設定することで、センターの設置目的の達成を図るもの。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (回)	4	4	4
実績値 (回)	5	7	4
達成度 (%)	125.0%	175.0%	100.0%

<b>指標 4 (2)</b>	
指標名 (単位)	【指標4(2)】着手した地域づくりプロジェクトの本数(本)《令和2年度から評価》
指標式と指標の説明	「市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供する業務」の成果を測る指標の2つ目として設定することで、センターの設置目的の達成を図るもの。

項目 (単位)	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (本)	-	4	5
実績値 (本)	-	0	0
達成度 (%)	#VALUE!	0.0%	0.0%

#### 4 事業の実施状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	<b>A</b>	<b>A</b>	<b>A</b>		<b>15</b>

#### 市が指定する事業

主な事業名	内容等	効果等
センターの運営・管理 事業計画書①	<b>センターの運営・管理に関する業務</b>	
	<b>【施設の運営管理】</b> <b>■施設開所日数《予定日数357日》</b> R1:328日 R2:211日 時短開設・利用制限あり R3:302日 時短開設・利用制限あり	○感染状況に応じた休所、時間短縮、それに伴うキャンセル、還付対応等に円滑に対応した。 ○感染症拡大防止対策を徹底し、利用者・職員の安全、安心を確保して施設を運営、事業を実施した。
各施設利用の承認及び 大学連携に係る施設利用等 に関する事業 事業計画書②	<b>一般利用及び大学連携に係る施設利用等に関する事業</b>	
	<b>【大学連携に係る施設利用】</b> 大学との連携により地域の課題の解決又は活性化を図るための事業のための利用	<b>■大学連携に係る利用数</b> R1:33件、R2:17件、R3:20件
	<b>【団体登録】</b> 大学等との連携により地域の課題解決又は活性化を図るための事業を施設にて実施する団体の登録	<b>■登録団体数</b> R1:37団体、R2:40団体、R3:43団体
	<b>【一般施設の利用承認】</b>	<b>■一般施設利用率《成果指標1》</b>
	<b>【シェアードオフィスの運営】</b>	<b>■シェアードオフィス利用率《成果指標2》</b>
さがみはら地域づくり大学の運営等 に関する事業 事業計画書⑤	<b>地域活動や市民活動への参加方法を知り、活動に結びつけ、更に活動を牽引する担い手づくりを目的とした事業</b>	
	<b>【さがみはら地域づくり大学】</b> 市民等が、協働の観点での地域活動及び市民活動を促進するために役立つ知識や技術を体系的に学ぶことのできる場の提供	<b>■講座受講者数:実人数うちコース受講者</b> R1:29名 うち15名 R2:21名 うち7名 R3:50名 うち9名
	<b>【コーディネーターズサークル】</b> 修了者の活動のフォローやスキルアップ、修了者同士の交流に繋がる機会の提供	<b>■メンバー新規登録者数</b> R1:2名、R2:7名、R3:10名 <b>■開催数、参加者延べ数《年4回》</b> R1:3回(ほか1回中止)、計19名 R2:2回(ほか2回中止)、計19名 R3:3回(ほか1回中止)、計19名

#### 企画提案事業

主な事業名	内容等	効果等
大学の研究教育活動や地域連携の 取組等の情報を発信する事業 事業計画書③	<b>情報コーナー出展大学・団体による地域貢献の取組事例や市民・他団体、大学との連携について紹介する事業</b>	
	<b>【大学情報コーナーの運営管理】</b>	<b>■利用大学数《成果指標2(1)》</b>
	<b>【地域情報コーナーの運営管理】</b>	<b>■利用団体数《成果指標2(2)》</b>
	<b>【情報誌(月刊誌)UNICOM PAPERの発行】</b> 施設の事業、大学・施設利用者の活動や、市民と大学との連携に関する情報の紹介	<b>■発行数</b> 年12回発行、毎月2,500部 約200ヶ所に配架 ・R2・3:学生スタートアップ事業に関する特集号の発行

<p>地域活動や市民活動を行う 市民と大学との橋渡しをする事業 事業計画書④</p>	<p>市民と大学が連携を深め、課題を共有し、大学の専門性と人材を活用して地域課題の解決や地域の活性化に取り組むための橋渡し事業</p>
<p>【市民・大学等のニーズ・シーズ調査】 施設利用者・施設関連大学へ連携事業の希望をヒアリングし、団体登録や大学との連携やシェアードオフィス利用に繋げる。</p>	<p>■市民からのピックアップ件数 R1:162件、R2:38件、R3:44件</p>
<p>【市民と大学等の連携支援】 市民と大学等との”橋渡し”としてアドバイス、訪問説明、条件交渉、フィードバックを行う。</p>	<p>■相談件数(同一案件の重複あり) R1:151件、R2:102件、R3:138件 ■市民と大学・学生との連携数《指標3》 R1:26件、R2:28件、R3:27件</p>
<p>【シェアードオフィス交流会】《年12回計画》 シェアードオフィス入居者同士の連携、協働を目的とした交流会</p>	<p>■開催数 R1:10回、R2:9回、R3:12回 ■各回参加団体数:10~13団体</p>
<p>センターの利用の促進に係る事業 事業計画書⑥</p>	<p>センター利用と、市民と大学との連携の促進を目的としたPR活動・情報発信する事業</p>
<p>【フリースペースの活用】 新たな層の地域活動への参加を促進し、新たな協働が生まれる場として有効活用する。</p>	<p>・R1~3:月替わりで大学・高校等の作品、研究発表等の展示を開催 ・R3:地域活動に関する情報を掲示できるホワイトボードの設置 ・R3:学生スタートアップ事業の登録学生向けに学生活動ブースとして開放 ⇒来館者に興味を持ってもらえた/学習・休憩利用者が増加した</p>
<p>【施設及び事業の広報・PR】 センターの利用、市民と大学との連携促進を目的としたPR</p>	<p>■情報誌《月1回発行》 ■ホームページ《週2回更新》 ■SNS(Facebook、Twitter、LINE、Instagram) ■ニュースリリースの発行《年10~12回》</p>
<p>市民と大学が地域課題の解決や地域の活性化を目的とした交流、研究、対話等を行う機会を提供する事業 事業計画書⑦</p>	<p>実行力を持つ市民と大学が交流する場を設定するとともに、協働して研究する機会を提供する事業</p>
<p>【市民・大学交流会】《年6回計画》 大学との連携を希望する個人・団体と大学が交流する場</p>	<p>■開催数・参加者数 R1:6回、計75名 R2:3回(ほか7回中止)、計21名 R3:5回(ほか2回中止)、計110名 ※R3はユニコムセミナー1回を含む</p>
<p>【まちづくりモデル事業認定団体の支援】 地域の課題解決や活性化に関するテーマに基づいて定期的な活動を行う団体を支援する事業</p>	<p>■活動団体数《指標4(1)》 R1:7団体(継続5、新規2) R2:10団体(継続5、新規5) R3:14団体(継続7、新規7) ■まちづくりモデル事業認定団体報告会 R1~3:各年1回</p>
<p>【まちづくりプロジェクトの企画運営】 地域の課題解決や活性化に関するテーマに基づいて市民と大学が連携して実施する事業</p>	<p>■着手・実施プロジェクト数《指標4(2)》 R2:0件、R3:0件 ※R2より開始</p>
<p>【ユニコムサミット】《年1回計画》 地域に関するテーマに関わる団体や専門家が直面する課題についてディスカッションを行う事業</p>	<p>■参加者数、テーマ R1:コロナ禍により中止 R2:R3に延期 R3:29名 「こども・若者がコロナ禍で生き抜くために」</p>
<p>【まちづくりフェスタ】《年1回計画》 まちづくりをテーマとした市民と大学の協働事業の成果を発表・共有し、交流を図る事業</p>	<p>■出展数・見学者数 R1:台風のため中止 R2:出展:34団体(交流展示会) ・見学者:160人以上 R3:出展:31団体(交流展示会) ・見学者:200人以上</p>
<p>施設の集客や知名度の向上を図り、施設の活性化を推進する事業 事業計画書⑧</p>	<p>施設の知名度の向上を図り、施設来場者の増加や、施設の活性化を推進する事業</p>
<p>【オーサーズカフェ】《年24回計画》 市民向けに「身近な話題をテーマにした講座」を実施し、施設来所者を増やす事業</p>	<p>■開催数・参加者数 R1:21回、計782名 R2:13回、計223名 R3:19回、計578名</p>
<p>【アートイベント】《年1~2回》 近隣の美術系大学や高校と協力し、市民が芸術を気軽に楽しむきっかけを提供する</p>	<p>■開催数 R1:コロナ禍で中止、R2:1回、R3:2回</p>

市民サービス水準を確保及び向上する事業 事業計画書⑨	利用者アンケートや満足度調査の結果からの改善により、利用者へのサービス向上を図る事業	
	【利用者からの要望対応】 利用者アンケート・満足度調査などで得られた利用者からの意見の反映	■「5 利用者の満足度」 《利用者意見に対する対応》
団体独自の発想に基づく事業 事業計画書⑩  「学生スタートアップ事業」 「学生インターンシップ」	積極的に大学生が地域活動に参加できる仕組みづくりとしての事業	
	【学生の地域活動への参画支援】 学生への地域活動に係るイベント・事業の運営に参画する機会の提供	・まちづくりモデル事業へのボランティア参加 (小学生学習支援、絵本読み聞かせ等) ・大学生等未来応援事業の運営参加 ・エフエムさがみ番組制作 ・More輝区～南区アイデアコンペ 等 ⇒コロナ禍においても、学生に活動機会を提供できた。
	【学生向け情報発信】 施設を利用する登録学生向けの地域活動や学生生活に役立つ情報の提供	■LINE登録者数 R1:98名、R2:185名、R3:73名
	【学生団体の施設減免利用／学生専用ブース】 ロビー2に設けた、学生の活動に使用する専用ブースの管理運営	■学生団体の地域活動による減免利用数 R1:655件、R2:752件、R3:22件 ※R1、2は学生の部屋無償利用あり
	【学生インターンシップ】 施設でのインターンシップ受入れによる学生支援	■受入数 R1:6名 R2:コロナ禍のため中止 R3:20名、延べ7大学
地域や他団体との連携、地域活動に関する事業 事業計画書⑪	センターが市民・大学や協働推進拠点と連携して、各々の地域活動を支援する事業	
	【センターにおける市民との連携】 センターと市民(市内で活動する個人、団体、NPO、企業等)とで連携した取組	・小学生によるパフォーマンス発表の場として、老人ホームの紹介・橋渡しを行った。 ・商業ビル内の他店舗の広報支援・情報の共有化 等
	【センターにおける大学との連携】 センターと大学とで連携した取組	・大学のSDGsの取組展示 ・施設事業での大学教授への講師登壇 ・事業担当による大学の各事業・イベントへの出席・参加 等
【センターにおける市・関連施設との連携】 センターと市各課・関連施設とで連携した取組	■市民活動サポートセンター ・よろず相談 ・「利用団体活動紹介パネル」の展示 ■その他 ・南区民会議に参加し情報収集・交換を行っている。 ・情報コーナー等で、南区の広報・事業周知に協力した。 ・市こども若者支援課「大学生食材支援」をロビーで開催し、運営ボランティア学生を紹介した。 ・市各課からの依頼により学生向け事業をLINEでの周知を行った。 ・アートラボはしもとのワークショップ支援として事業担当がイベント参加した。 等	

自主事業		
主な事業名	内容等	効果等
なし	-	-





## 6 施設の経営状況

評価 (5評価)	令和元年度	令和2年度	令和3年度	評価点 (20点満点)	評価点
	<b>B</b>	<b>B</b>	<b>B</b>		<b>10</b>

### 施設の収支概要

(千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入 (a)	<b>72,472</b>	<b>73,793</b>	<b>74,412</b>
指定管理料	42,552	42,893	37,873
利用料金収入	29,141	13,205	25,032
その他の収入	779	17,695	11,507
支出 (b)	<b>73,098</b>	<b>75,140</b>	<b>75,841</b>
人件費	40,807	42,332	42,295
本社管理経費	2,434	2,434	2,434
その他の支出	29,857	30,374	31,112
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	<b>-626</b>	<b>-1,347</b>	<b>-1,429</b>
自主事業収入 (d)	0	0	0
自主事業支出 (e)	0	0	0
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	0	0	0
全体収支 【(c)+(f)】	<b>-626</b>	<b>-1,347</b>	<b>-1,429</b>

備考

■事業収支、全体収支としては赤字(別途市による損失補償あり)のため加点なし、法人の財務状況としては特段の課題はなしとして、評価基準に基づき、3年間の評価は「B」となっている。

(a)収入

- ・指定管理料は、R1.10月の税率変更及びR2.10月の料金改定に伴う収入増を見込んだ金額変更あり
- ・利用料金収入は休館に伴う減額あり
- ・その他の収入に「R2:雇用調整助成金」、「R2:緊急雇用安定助成金」「R2・3:協力金」「R2・3:コロナ対策補助金」を含む
- ・市による「各年度の感染拡大防止措置に伴う損失補償」は収入に含んでいない。

■対象年度ごとの損失補償額

R1:2,707,972円、R2:316,854円、R3:1,428,185円

(b)支出

- ・人件費は嘱託職員の増加あり
- ・コロナ対策に係る消耗品・備品、人件費を、補助金等に対応

(c)+(f)全体収支

- ・施設休館、利用料還付の影響もあり、各年度の決算において支出が収入を上回っている。
- ・R2:市による前年度の損失補償が翌年度中の支払となり、収支で黒字となった分は施設修繕や消耗品購入等の利益の還元を行った。



## 7 管理業務の履行状況

検査項目	確認結果		
	令和元年度	令和2年度	令和3年度
管理業務	適正に実施	適正に実施	適正に実施
危機管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
人員配置・地元活用	適正に実施	適正に実施	適正に実施
現金管理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
会計・経理	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報セキュリティ	適正に実施	適正に実施	適正に実施
情報公開・個人情報保護	適正に実施	適正に実施	適正に実施
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	適正に実施	適正に実施
加点の有無	無	有	有
主な加点内容	-	<ul style="list-style-type: none"> <li>■利益の還元として、指定管理料分を超える施設修繕を行い、また、LED電灯等の消耗品を購入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ネット回線強化の利用者要望に対するWi-Fiの中継器3台を購入・貸出し</li> <li>■予約システムの入替えによる還付対応の効率化、利用申請手続きにかかる時間の短縮</li> </ul>

## 8 指定管理者の自己評価

3年間を通し、新型コロナウイルス感染症の影響があったにもかかわらず創意工夫を重ね、概ね良好に運用できた。

施設運営は様々な問題に対してチームを組んで組織力で対応した。また、大学の地域活動や市民活動が停滞する中で、さまざまな工夫を行い連携に結び付けた。

成果指標の達成度については、令和3年度が評価Dとなっているが、これは新型コロナウイルス感染症の影響が勘案されていないこと、さらに橋渡しの考え方について市との見解に齟齬があったことによるものである。

今後は、センターの日常的な運用状況や実態を十分に理解していただくために、市との定期的な情報共有・意思疎通・協議の場を設けていただくよう要望したい。

## 9 所管課意見

コロナ禍において急な休所や時間短縮などの利用制限が生じ、利用者への周知や還付など柔軟に対応したことを評価する。また、“シェアードオフィス交流会”や“地域づくり大学”などのオンライン対応や、“まちづくりフェスタ”を展示形式とするなどの工夫により事業を展開したことを評価する。

一方、“市民と大学との橋渡し”や“まちづくりプロジェクト”については、大学や団体の活動の停滞により取組が困難であった。大学の専門性や人材を活かして、実際に地域課題の解決や地域活性化に繋がる助言・提案をするためには、コロナ禍ならではの地域課題の把握や連携ニーズの掘り起こし等が課題となった。

幅広い層の市民を大学連携へ繋げるには、施設や事業のさらなる知名度・魅力の向上が必要である。第3期の新たな取組として、“学生スタートアップ事業”にて学生が地域活動に参画するきっかけ作りと支援を行ったことを評価する。

## 10 選考委員会意見

全般的には、施設の設置目的の達成に向けて多様な取組を実施しており、良好だった。コロナ禍での施設休所など非常に厳しい運営状況であり、施設の職員の苦労がうかがえる。

管理運営については、コロナ禍で蓄積したノウハウを、今後の危機管理にも活かしてほしい。

人員体制については、ジョブローテーションなどにより、管理者に代わる職員や渉外・連携相談に携わる事業担当を育成することが必要であり、持続可能な体制構築が課題である。

収支面については、事業の継続性のためにも、自主事業等により全体の黒字化を目標に運営してほしい。

施設の設置目的である「市民と大学との橋渡し」は、地元の大学との連携を考えることが重要であり、橋渡しを行う連携支援の窓口として、これまで構築してきた関係性を活かして、大学や学生が参画したくなるような魅力的な企画提案を行ってほしい。

貸館機能については、公の施設として多様な市民団体がより活用しやすくなるよう、利用条件の緩和に努めてほしい。

### 総合評価（自動判定）

**B**

(68/100)

